メンバー紹介！

芥川倶楽部副代表　岡山 雅彦さん
（高槻観光協会会長、かじか荘社長、などなど）

私も芥川中流辺りで毎日川を眺めながら住みついて、もう60年を越えてしまいました。

幼少の頃から、亡き親父に芥川で鮎の友釣りや、大雨が降って川が増水した時は濁り掬いによく連れて行かれたものでした。

その時口癖のように「川というもんは山を大事にして森林を大切にせんと、ええ川にならんのやぁ！この川はええ川やから、いろんな魚も沢山おって、ええ作物も出来るんやぁ！ そやから山を大事にせなアカンでぇ！」とよく言われたもんです。

そういった体験で川の優しさ、恐ろしさを感じ、毎日イヤがおうにも川と対面していると不思議とその川の表情が分かってくる様になります。今日は川が機嫌悪いなぁとか、機嫌ええなぁとか、ホントに面白く愛着のある川です。この芥川も、もっとすばらしい親しみのある川にするには、これからもより一層山、森林を守り、豊かな水を与えてくれる川づくりが必要かと思いますし、水量の少ない時には、下水の浄化再生利用も一考してはと思います。

芥川倶楽部行事予定

参加無料！

●森林観察ハイキング

神峰山寺をスタートし、楊梅山で森林施業を観察した後、歩いて戻ります。

集合：11月16日（土）10:00
　　高槻市営バス 上のロバス停
解散：15:00頃
持ち物：歩きやすい服装、靴、お弁当、飲み物
講師：NPO芥川倶楽部理事 小柿正武
申込み：高槻市政策企画室 TEL:072(674)7392
　　11月7日(金)締切
※雨天中止

●ミズヒマワリ駆除作戦！

恒例のミズヒマワリ駆除作戦をこの冬再開します。

集合：11月23日（日)10:00　芥川 西之川原橋
解散：12:00頃
持ち物：汚れてもいい服装、長靴、防水手袋
※11月以降、毎月実施予定

●歩いて知ろうよ芥川

～みんなで遊歩道をつくっていこう！～

芥川沿いを自分の足で歩いて、その植生や豊かな自然を感じ、貴重な周辺史跡にも触れてみませんか？

また、歩くことで川沿い道の現状を考え、私たちの憩いの場として、遊歩道の整備を働きかけていきましょう！

集合：11月29日（土）10:00　高槻市三箇牧支所
解散：12:30頃　清水池コミュニティセンター付近
持ち物：歩きやすい服装、靴
申込み：高槻市政策企画室　TEL:072(674)7392

★イベントの告知や詳細、延期等の最新情報は、下記ホームページでご紹介していますので、ご参照ください。
URL：
http://www.akutagawa-club.net/index.html

芥川の生き物たちその2　メダカ

あくあぴあ芥川　高田みちよ

環境省レッドデータブックにメダカが記載されたとき、皆一様に驚きました。どこにでもいると思われたメダカがまさかの絶滅危惧種の仲間入り。現状は明日にも絶滅してしまうほどではありませんが、どこにでもいるとは言えなくなってきました。メダカは遊泳力が弱く、滔々と流れる川では生きられません。ゆるい流れや田んぼ横の水路など、水面近くでふわふわと浮くように生活します。農業用水路では水のない時期があるので、川へ移動します。最近の農地整備で農地と川の間に高い段差ができたため、この行き来ができなくなりました。

また、メダカと良く似たカダヤシが蚊を駆除するために多数放流されたことにより、生息環境を奪われています。芥川では堰によってできる湛水域（堰上流部のよどみ）がメダカの生息に適しているようで、メダカの学校があちこちに見られます。捕まえてじっくり見ないと、よく似たカダヤシや他の魚の子どもと間違えられることが多いので、メダカかな？と思ったら捕まえてみてください。そしてしっかり観察した後は、川にもどしてあげてください。ただし、他の地域のメダカを放流したり、一度持ち帰ったものを再び川へ放すことはメダカのためになりませんので、やめて下さいね。

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

芥川水辺だより

門前橋上流

Vol.2
2008年
秋号

2008年度総会開催！

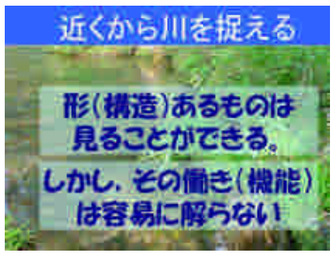
7月7日の「川の日」に、市民団体、アドバイザーの先生方、ならびに行政（国土交通省、大阪府、高槻市）計約70名参加で定例総会を開催。田口代表の挨拶に次いで活動実績と今後の抱負を説明し、各報告事項は満場の拍手を持って承認されました。

今年は「川の自然環境を捉える」というテーマで、岐阜県の自然共生研究センターの萱場祐一先生に講演をお願いしました。（先生は、テレビ番組「素敵な宇宙船地球号」で活動や研究が取り上げられるなど、非常に多方面でご活躍の方です。）人工的に作った川などでの研究報告は、規模が大きくまた緻密ですばらしいものでした。

萱場先生

「川との距離のとり方で、見えてくるものが変わる」とのお話があり、水辺植物の生え方と水流の関係性など「近くを捉える」ことで、芥川の環境改善へのイメージも膨らみました。

平成20年度の定例総会は、芥川創生に向けてたいへん有意義なものとなりました。



発行者：NPO法人芥川倶楽部　〒569-0805　高槻市上田辺町１－１８　　TEL　072（685）3503
ホームページ　http://www.akutagawa-club.net/index.html
2008年10月30日発行

活動記録

澪筋ー再発見！　魚道（さかなみち）や澪筋（みおすじ）の生き物を調べよう

8月9日（土）、9月18日（土）

JR鉄橋下流の堰に設置した魚みちと澪筋のモニタリングと観察会。 楽しいイベントをたくさん企画していたのですが、 8月8日に降った雨の影響による増水のため、8月9日の観察会は一部を実施したのみで、9月18日に延期となりました。

しかし今度は前日の9月17日に大型台風が接近。120㎜を越える雨が予想されていたので、早々に中止を決定。しかし･･･、台風は南にそれ、芥川はほとんど増水もしておらず、実施すればよかった～!!!　と、スタッフ一同がっくりでした。

8月9日の様子

前日、樫田地区で降った雨の影響で大幅増水。大変危険ですので、イベントは延期に・・・。

ダメもとで！　前日仕掛けておいた定置網を確認。

意外にも！？　オイカワ、ザリガニほか、何とムギツクも確認でき、 魚みちの効果が実証されました。

魚みちや澪筋の必要性と共に、川での安全に対する姿勢を啓発。

魚道の水の勢いは、遡上する魚にとって大変重要。この日は増水の影響で、流速160cm/秒と、魚にとってキビシイ環境となりました。

《おまけ》
かわいいコサギにも出会えました。

遡上アユを見つけよう！ －芥川にも海からアユがのぼってきている？？？

6月7日（土）　50名以上の人が芥川大堰下流に集まりました。

いち、にの、さん･･･！で投網を打つ

見守る観客

美化奉仕会の皆さんは、すぐにゴミ拾いを開始。

網の中でピチピチはねるアユはとてもきれいです。

ブラックバスとブルーギルも採れた！

魚の解説。オイカワが一番多く、コウライニゴイやムギツクなども。

今年も芥川大橋の下までアユが上ってきました。魚道ができればもっと上流まで上ってきてくれるでしょう。しかしブラックバスやブルーギルも魚道を上ってくるかもしれません。それが今後の課題です。

ブラックバス駆除大作戦　7月19日（土）

芥川大橋下流で、「ブラックバス駆除大作戦」が行われました。
ブラックバスは特定外来生物に指定されており、本来の生態系に影響を与えるということで全国各地で問題になっています。 この日は、高槻フットボールクラブの子どもたちに協力してもらって地引き網を引いたり、講師のみなさんが投網を打ったりして、ブラックバスを捕獲しました。

水生生物センターによる地引網

魚の解説

ご協力ありがとうございました

残念ながら大型のブラックバスは捕獲できなかったものの、小型のブラックバスをはじめ11種類の魚が捕れました。 集まった約70人の市民はこのあと、講師の説明を聞きながら捕れた魚を観察していました。

森林観察ハイキング

5月26日（月）

「川を守るには、山を守らなければならない」ということで、芥川倶楽部有志で芥川流域の原から萩谷までの山の現状を見るとともに、 NPO法人森のプラットホームが手入れされている山で体験をして、自分たちにもできる？！？ことを確認しました。

まずは見本

キコリの真似事。切った木は、ある程度の大きさに。

タゴガエル発見！

ミズヒマワリ駆除作戦！

4月20日（日）、5月3日（土祝）

大量！

ミズヒマワリは中央アメリカ原産の外来種です。ものすごい繁殖力で流れのゆるい水域に繁茂するため、外来生物法の「特定外来生物」に指定されています。以前は各地のペットショップや熱帯魚店でアクアリウム用の水草として販売されていたので、各地で逸出して野生化しています。大阪府では芥川とそれに続く淀川にしか生育していないので、ここで駆除すれば撲滅できるのでは、との思いから、駆除作業を行っています。4月20日は上流端から塚脇橋付近、5月3日はあくあぴあ芥川前付近を駆除しました。上流から順に駆除しないと、葉や茎、根の欠片からまた生えてきます。まだまだ下流までの道のりは遠いですが、これからも負けずに頑張っていきましょう！

こんなちぎれ葉から根が！

サポーター募集中！

芥川倶楽部では、川づくりや各種イベントに、一緒に参加してくださる「サポーター」を募集しています！ぜひ下記までご連絡下さい。イベント等のご案内を差し上げます。

【連絡先】 e-mail ： ayu@akutagawa-club.net　または　TEL&FAX ： 072(685)3503
【イベント告知】　ホームページ ： http://www.akutagawa-club.net/index.html